

食品中の動物用医薬品検査結果

当所では、食品中の動物用医薬品検査を行っています。今回は、平成27年4月から7月までに食品専門監視班が収去及び購入した食品の検査結果を報告します。

4月に市内を流通している畜産食品20件(牛の筋肉5件、牛の脂肪5件、豚の筋肉5件及び豚の脂肪5件)について、検査を行いました。その結果、表1に示すとおりすべての項目で不検出でした。

5月にインターネットを通じて購入した、魚介類10件(さけ目魚類(アユ3件、ニジマス3件)、すずき目魚類(カンパチ1件)及びその他の魚類(ナマズ1件、ヒラメ2件))について検査を行いました。

また、7月に市内を流通している魚介類10件(うなぎ目魚類(ウナギ2件)、さけ目魚類(ギンザケ1件)、すずき目魚類(ブリ2件、マダイ1件)、甲殻類(バナメイエビ2件、ブラックタイガー1件)及び魚介類加工品(ウナギ蒲焼1件))について検査を行いました。

これらの結果を表2に示しました。これらのうち、アユ1件より合成抗菌剤エンロフロキサシン(シプロフロキサシンとの和)が0.23ppm検出されました。また同じアユ1件より合成抗菌剤フラゾリドンが0.001ppm検出されました。これら2項目は基準値を超えていたため、食品衛生課から管轄する自治体に連絡しました。他の食品はすべての項目で不検出でした。

《基準値について》

今回アユから検出されたエンロフロキサシンは残留基準値が設定されていませんが、食品衛生法で「食品は抗生物質又は化学的合成品たる抗菌性物質を含有してはならない」という一律の規制が行われています。このため、エンロフロキサシンはアユには含有してはならない成分ということになります。また、畜産動物に投与されたエンロフロキサシンはその一部が脱アルキル化されたシプロフロキサシンに代謝されるため、代謝物も含めて評価することになっています。

フラゾリドンは発がん性又は遺伝毒性があるため、検出限界値は低く設定され、食品において検出されてはならない農薬等として別に定められています。

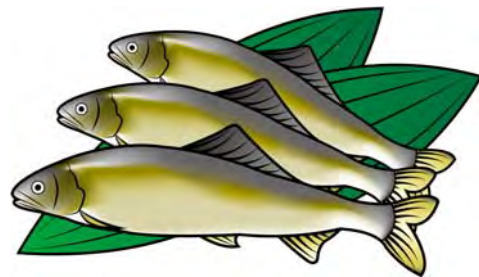


表1 畜産食品中の動物用医薬品の検査項目、検査結果及び検出限界

検査項目	検査結果				検出限界
	牛の筋肉 (5件)	牛の脂肪 (5件)	豚の筋肉 (5件)	豚の脂肪 (5件)	
【合成抗菌剤】					
エンロフロキサシン (シプロフロキサシンとの和)	N.D.	-	N.D.	-	0.01
オキシリニック酸	N.D.	-	N.D.	-	0.01
オフロキサシン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
オルビフロキサシン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
オルメトプリム	N.D.	-	N.D.	-	0.01
クロピドール	N.D.	-	N.D.	-	0.01
サラフロキサシン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
ジフロキサシン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファキノキサリン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファジアジン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファジミジン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファジメトキシ	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファドキシ	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファピリジン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファメトキサゾール	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファメキシピリダジン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファメラジン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
スルファモノメトキシ	N.D.	-	N.D.	-	0.01
ダノフロキサシン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
チアンフェニコール	N.D.	-	N.D.	-	0.01
トリメプリム	N.D.	-	N.D.	-	0.01
ナリジクス酸	N.D.	-	N.D.	-	0.01
ノルフロキサシン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
ピロミド酸	N.D.	-	N.D.	-	0.01
フルメキン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
フロルフェニコール	N.D.	-	N.D.	-	0.01
マルボフロキサシン	N.D.	-	N.D.	-	0.01
【内寄生虫用剤】					
フルベンダゾール	N.D.	-	N.D.	-	0.002
イベルメクチン	-	N.D.	-	N.D.	0.005
エプリノメクチン	-	N.D.	-	N.D.	0.005
モキシデクチン	-	N.D.	-	N.D.	0.005

単位:ppm N.D.:不検出

表2 魚介類中の動物用医薬品の検査項目、検査結果及び検出限界

検査項目	検査結果						検出限界
	うなぎ目 (2件)	さけ目 (7件)	すずき目 (4件)	その他 魚類 (3件)	甲殻類 (3件)	加工品 (1件)	
【合成抗菌剤】							
マラカイトグリーン	N.D.	-	-	-	-	N.D.	0.002
ロイコマラカイトグリーン	N.D.	-	-	-	-	N.D.	0.002
ニトロフラントイン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.001
フラゾリドン	N.D.	N.D.(6件) 0.001(1件)	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.001
フラルタドン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.001
エンロフロキサシン (シプロフロキサシンとの和)	N.D.	N.D.(6件) 0.23(1件)	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
オキシリニック酸	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
オフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
オルビフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
オルメトプリム	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
クロビドール	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
サラフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ジフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファキノキサリン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファジアジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファジミジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファジメトキシ	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファドキシ	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファピリジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファメキサゾール	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファメキシピリダジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファメラジン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
スルファモノメトキシ	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ダノフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
チアンフェニコール	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
トリメプリム	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ナリジクス酸	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ノルフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
ピロミド酸	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
フルメキン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
フロルフエニコール	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
マルボフロキサシン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.01
【抗生物質】							
オキシテトラサイクリン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.02
クロルテトラサイクリン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.03
テトラサイクリン	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.02
クロラムフェニコール	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	0.0005

単位:ppm N.D.:不検出

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】